

SARAYA

製品情報

殺菌消毒剤 第2類医薬品

サラサイド

(器具・物品等の殺菌・消毒)



目 次

1. はじめに	1
2. 特 徴	1
3. 組成および性状	1
4. 効能・効果	1
5. 用法・用量	1
6. サラサイドの殺菌効果	2
6-1 ヨーロッパ標準法 (EN法) に準拠した殺菌力試験	
6-2 Time-Kill試験 (ASTM E2315-03) に準拠した殺菌力試験	
7. 各種ウイルスに対する不活化効果 : DVV & RKI ガイドライン (2008) ...	6
8. サラサイドの金属に対する影響	8
8-1 金属テストピースをサラサイドに浸漬した場合の変化	
8-2 実際の使用方法を想定した場合のアルミニウムテストピースに対する サラサイドの影響	
9. サラサイドのプラスチックに対する影響	10

サラサイド

1. はじめに

医療施設の環境中には多種多様な微生物が生息し、中には医療関連感染と関わる微生物も存在します。ス波尔ディングの分類に従うと、環境表面はノンクリティカルに分類されるため、環境整備の基本は清掃ですが、近年、環境に存在する病原体が患者に伝播したと考えられる事例が報告されています^{1,2)}。特に薬剤耐性菌、ノロウイルスおよびクロストリジウム・ディフィシルなどに対しては様々な報告から環境消毒の必要性が指摘されています^{2,3)}。

このような状況を鑑み、当社では安全性と汎用性を考慮した上で、物品や環境表面の殺菌消毒、特に、医療および福祉施設のドアノブや手すりなど硬質表面の殺菌消毒に利用できる薬剤「サラサイド」の開発に至りました。サラサイドはベンザルコニウム塩化物(0.1 W/v%)を有効成分とし、エタノール、炭酸ナトリウムを配合した製剤で、各種ウイルス・細菌・真菌に有効で抗微生物スペクトルの広い消毒剤です。

2. 特 徴

- **サラサイド**はベンザルコニウム塩化物を有効成分とした器具・物品・環境表面を対象にした殺菌消毒剤です。
- ノンエンベロープウイルスを含む微生物に対して幅広い抗微生物スペクトルを有します。
- 国際的な標準試験法に基づいた効力試験により、有効性が確認されています。

3. 組成および性状

成 分：ベンザルコニウム塩化物 0.1 W/v%

添加物として、エタノール、炭酸ナトリウム、エデト酸四ナトリウム四水塩、クエン酸を含有

外 観：無色透明の液体

4. 効能・効果

家具・器具・物品等の殺菌・消毒

表 1 本剤の使用対象物(例)

対 象	具 体 例
家具	オーバーテーブル、イス、冷蔵庫の取手、ベッド柵など
器具・物品など	車椅子、包交車、ストレッチャー、点滴台、床頭台、電気スイッチ、機器類の表面やスイッチ、血圧計・聴診器の表面など

5. 用法・用量

本品をそのまま対象物に噴霧するか、又はそのまま布片等に浸して対象物を清拭する。

※ 噴霧する際は部分的にスプレーし、その後、布などで清拭してください。広範囲の噴霧は吸入等の問題があるので避けてください。

サラサイド

6. サラサイドの殺菌効果

6-1 ヨーロッパ標準法（EN 法）に準拠した殺菌力試験：

6-1-1. 各種細菌に対する殺菌効果

欧州標準化委員会（CEN）が定める欧州規格EN13727に基づいた*in vitro*試験により、各種細菌に対する**サラサイド**の殺菌力を評価しました。EN13727の要求事項として、試験した全ての細菌に対して、試験前後の菌数の対数減少値が5.0Log₁₀以上であれば有効であると判定されます。

<方 法>

供試菌液 1mL、負荷物質 1mL の混合液に**サラサイド** 8mL を加え、20℃に保持しながら 30 秒間作用させました。この反応液を不活化剤と混和して不活化した後、培養し、生残菌数を求めました。負荷物質には 0.03% アルブミンを用いました。

<結 果>

結果を表2に示します。**サラサイド**は試験した全ての細菌に対して、30秒間の作用で対数減少値が5.0Log₁₀以上であり、細菌に対して有効であることが確認されました。

表 2 サラサイドの各種細菌に対する殺菌力

	供試菌株	作用時間	初期菌数 (CFU/mL)	対数減少値	減少率(%)
グラム陰性菌	緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC 15442	30 秒	3.3 × 10 ⁸	> 7.5	>99.999
	大腸菌 <i>Escherichia coli</i> ATCC 11229	30 秒	7.0 × 10 ⁸	> 7.8	>99.999
グラム陽性菌	黄色ブドウ球菌 <i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 6538	30 秒	9.0 × 10 ⁷	> 7.0	>99.999
	エンテロコッカス ヒラエ <i>Enterococcus hirae</i> ATCC 10541	30 秒	2.1 × 10 ⁸	> 7.3	>99.999

6-1-2. 真菌に対する殺菌効果

欧州標準化委員会 (CEN) が定める欧州規格 EN13624 に基づいた *in vitro* 試験により、真菌に対する **サラサイド** の殺菌力を評価しました。EN13624 の要求事項として、試験した真菌に対して、試験前後の菌数の対数減少値が 4.0Log_{10} 以上であれば有効であると判定されます。

<方 法>

供試菌液 1 mL、負荷物質 1 mL の混合液に **サラサイド** 8 mL を加え、20℃ に保持しながら 30 秒間作用させました。この反応液を不活化剤と混和して不活化した後、培養し、生残菌数を求めました。負荷物質には 0.03% アルブミンを用いました。

<結 果>

結果を表 3 に示します。**サラサイド** は試験した真菌に対して、30 秒間の作用で対数減少値が 4.0Log_{10} 以上であり、各種真菌について有効であることが確認されました。

表 3 サラサイドの真菌に対する殺菌力

供試菌株	作用時間	初期菌数 (CFU/mL)	対数減少値	減少率(%)
カンジダ アルビカンス <i>Candida albicans</i> JCM 2085	30 秒	3.7×10^7	> 6.6	>99.99
アスペルギルス属 <i>Aspergillus flavus</i>	30 秒	1.0×10^7	> 6.0	>99.99

6-1-3. 抗酸菌に対する殺菌効果

欧州標準化委員会 (CEN) が定める欧州規格 EN14348 に基づいた *in vitro* 試験により、試験管内で **サラサイド** の殺菌力を評価しました。EN14348 の要求事項として、試験した抗酸菌に対して、試験前後の菌数の対数減少値が 4.0Log_{10} 以上であれば有効であると判定されます。

<方 法>

供試菌液 1 mL、負荷物質 1 mL の混合液に **サラサイド** 8 mL を加え、20℃ に保持しながら 30 秒間作用させました。この反応液を不活化剤と混和して不活化した後、培養し、生残菌数を求めました。負荷物質には 0.03% アルブミンを用いました。

<結 果>

結果を表 4 に示します。**サラサイド** は試験した抗酸菌に対して、30 秒間の作用で対数減少値が 4.0Log_{10} 以上であり、抗酸菌に対して有効であることが確認されました。

表 4 サラサイドの抗酸菌に対する殺菌力

供試菌株	作用時間	初期菌数 (CFU/mL)	対数減少値	減少率(%)
マイコバクテリウム・テラエ <i>Mycobacterium terrae</i> ATCC 15755	30 秒	2.0×10^8	> 6.3	>99.99

6-2 Time-Kill 試験 (ASTM E2315-03) に準拠した殺菌力試験：

米国のFDA - TFMで、医療関連感染症の代表菌株として指定されている25菌株およびその他感染症原因菌（各種薬剤耐性菌を含む）に対する**サラサイド**の殺菌力を評価しました。なお、試験は米国試験・材料協会 (ASTM) が定めるASTM E2315-03に準じて行いました。

<方 法>

供試菌液0.5mLに**サラサイド**9.5mLを加え、20℃に保持しながら15秒間作用させました。この反応液を不活化剤と混和して不活化した後、培養し、生残菌数を求めました。

<結 果>

結果を表5および表6に示します。**サラサイド**は試験した全ての細菌および真菌を15秒の作用で5.0Log₁₀以上減少させました。

表5 サラサイドの各種細菌(25菌株以外)に対する殺菌力(Time-Kill 試験)

	供試菌株	作用時間	初期菌数 (CFU/mL)	対数減少値	減少率(%)
グラム 陰性菌	アシネトバクター バウマニ <i>Acinetobacter baumannii</i> ATCC 19606	15 秒	2.2×10^6	5.4	>99.999
	セバシア <i>Burkholderia cepacia</i> ATCC 25416	15 秒	3.8×10^7	> 6.6	>99.999
	多剤耐性緑膿菌 (MDRP) Multidrug-resistant <i>Pseudomonas aeruginosa</i> GTC 2017	15 秒	4.1×10^8	> 7.6	>99.999
グラム 陽性菌	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) Methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 700698	15 秒	4.1×10^7	> 6.6	>99.999
	バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) Vancomycin-resistant <i>Enterococcus faecium</i> ATCC 51559	15 秒	2.6×10^7	> 6.4	>99.999
	バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) Vancomycin-resistant <i>Enterococcus faecalis</i> ATCC 51299	15 秒	3.3×10^7	> 6.5	>99.999
	バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) Vancomycin-resistant <i>Enterococcus faecalis</i> ATCC 51575	15 秒	1.5×10^7	> 6.2	>99.999

表6 サラサイドの各種細菌(25菌株)に対する殺菌力(Time-Kill 試験)

	供試菌株	作用時間	初期菌数 (CFU/mL)	対数減少値	減少率(%)
グラム陰性菌	アシネトバクター ヘモリティカス <i>Acinetobacter haemolyticus</i> ATCC 17906	15 秒	2.7×10^7	> 6.4	>99.999
	バクテロイデス フラジリス <i>Bacteroides fragilis</i> ATCC 25285	15 秒	7.2×10^8	> 7.9	>99.999
	インフルエンザ菌 <i>Haemophilus influenzae</i> ATCC 10211	15 秒	1.1×10^6	> 5.0	>99.999
	エンテロバクター アエロゲネス <i>Enterobacter aerogenes</i> ATCC 13048	15 秒	2.1×10^8	> 7.3	>99.999
	大腸菌 <i>Escherichia coli</i> ATCC 11229	15 秒	2.5×10^8	> 7.4	>99.999
	大腸菌 <i>Escherichia coli</i> ATCC 25922	15 秒	6.6×10^7	> 6.8	>99.999
	クレブシエラ オキシタカ <i>Klebsiella oxytoca</i> ATCC 43165	15 秒	3.9×10^8	> 7.6	>99.999
	肺炎桿菌 <i>Klebsiella pneumoniae</i> ATCC 13883	15 秒	2.9×10^8	> 7.5	>99.999
	緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC 15442	15 秒	1.6×10^8	> 7.2	>99.999
	緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC 27853	15 秒	3.6×10^8	> 7.6	>99.999
	プロテウス ミラビリス <i>Proteus mirabilis</i> ATCC 14153	15 秒	4.0×10^8	> 7.6	>99.999
	セラチア菌 <i>Serratia marcescens</i> ATCC 14756	15 秒	6.4×10^8	> 7.8	>99.999
グラム陽性菌	黄色ブドウ球菌 <i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 6538	15 秒	1.4×10^7	> 6.2	>99.999
	黄色ブドウ球菌 <i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 29213	15 秒	4.4×10^7	> 6.6	>99.999
	表皮ブドウ球菌 <i>Staphylococcus epidermidis</i> ATCC 12228	15 秒	1.4×10^7	5.5	>99.999
	スタフィロコッカス ホミニス <i>Staphylococcus hominis</i> ATCC 700236	15 秒	1.5×10^7	> 6.2	>99.999
	スタフィロコッカス ヘモリティカス <i>Staphylococcus haemolyticus</i> ATCC 29970	15 秒	3.7×10^7	> 6.6	>99.999
	腐性ブドウ球菌 <i>Staphylococcus saprophyticus</i> ATCC 15305	15 秒	5.0×10^7	> 6.7	>99.999
	ミクロコッカス ルテウス <i>Micrococcus luteus</i> ATCC 7468	15 秒	2.5×10^7	> 6.4	>99.999
	化膿連鎖球菌 <i>Streptococcus pyogenes</i> ATCC 12344	15 秒	1.1×10^7	> 6.0	>99.999
	エンテロコッカス フェカリス <i>Enterococcus faecalis</i> ATCC 29212	15 秒	1.5×10^7	> 6.2	>99.999
	エンテロコッカス フェシウム <i>Enterococcus faecium</i> ATCC 6057	15 秒	1.4×10^7	> 6.1	>99.999
	肺炎球菌 <i>Streptococcus pneumoniae</i> ATCC 33400	15 秒	2.0×10^6	> 5.3	>99.999
	カンジダ グラブラタ <i>Candida glabrata</i> ATCC 90030	15 秒	5.1×10^7	> 5.7	>99.999
真菌	カンジダ アルビカンス <i>Candida albicans</i> ATCC 10231	15 秒	6.8×10^7	> 5.8	>99.999

サラサイド

7. 各種ウイルスに対する不活化効果：
DVV & RKI ガイドライン(2008)

サラサイドの各種ウイルスに対する不活化効果を評価するため、ドイツの標準試験法であるDVV&RKIガイドライン(2008)に準じて、評価を実施しました。DVV & RKI ガイドライン(2008)ではそれぞれの指標ウイルスに対して、ウイルス感染価で4.0Log10以上の減少(感染価の減少率：99.99%以上)が認められた場合、その製剤はウイルスに対して有効であると判定されます。

<方 法>

タンパク質を負荷した条件では、サラサイド(原液あるいは作用時に95%濃度になるように濃縮した製剤)、ウシ胎仔血清、各ウイルス培養液を8:1:1の割合で混合し、20±1℃の水浴中で、一定時間作用させました。また、タンパク質を負荷しない条件では、サラサイド(原液あるいは作用時に95%濃度になるように濃縮した製剤)、滅菌蒸留水、各ウイルス培養液を8:1:1の割合で混合し、同様の条件で試験を行いました。作用後、不活化し、各種ウイルスに対応する検出用細胞に接種しました。一定時間後にウイルス感染の有無を観察し、ウイルス感染価(TCID50)を算出しました。

<結 果>

結果を表7～9に示します。サラサイドは試験した全てのウイルスに対して、ウイルス感染価を4.0Log10以上減少させました。なお、DVV&RKIガイドライン(2008)に準じた場合、サラサイドは「Virucidal activity」の指標ウイルスに対し、4.0Log10以上の不活化効果が得られたことから、ノンエンベロープウイルスを含む幅広いウイルスに対して有効な殺菌消毒剤であるといえます。

表7 サラサイドの「Virucidal activity」指標ウイルスに対する不活化効果(%)
(タンパク質負荷あり)

ウイルス		作用時間		
		30 秒	1 分	5 分
エンベロープ 無し	ポリオウイルス 1 型*1 Poliovirus Type 1	68.38	99.90	> 99.99
	アデノウイルス 5 型 Adenovirus Type 5 / Adenoid 75	99.68	99.97	> 99.99
	パポバウイルス SV40*1 Poliovirus Type 1	99.44	99.98	> 99.99
エンベロープ 有り	ワクシニアウイルス Vaccinia virus, strain Elstree	> 99.99	> 99.99	> 99.99

*1 濃縮製剤を使用

表8 サラサイドの「Virucidal activity」指標ウイルスに対する不活化効果(%)
(タンパク質負荷なし)

ウイルス		作用時間	
		30秒	1分
エンベロープ 無し	ポリオウイルス 1 型 ^{*1} <i>Poliovirus Type 1</i>	99.94	> 99.99
	アデノウイルス 5 型 <i>Adenovirus Type 5 / Adenoid 75</i>	99.98	> 99.99
	パポバウイルス SV40 ^{*1} <i>Poliovirus Type 1</i>	> 99.99	> 99.99
エンベロープ 有り	ワクシニアウイルス <i>Vaccinia virus, strain Elstree</i>	> 99.99	> 99.99

*1 濃縮製剤を使用

表9 サラサイドのその他ウイルスに対する不活化効果(%)
(タンパク質負荷なし)

ウイルス		作用時間	
		30秒	1分
エンベロープ 無し	ネコカリシウイルス F9 (ノロウイルス代替) <i>Feline calicivirus F9</i>	> 99.99	> 99.99
	マウスノロウイルス S7 ^{*1} (ノロウイルス代替) <i>Murine norovirus S7</i>	> 99.99	> 99.99
エンベロープ 有り	インフルエンザウイルス A (H1N1) 型 <i>Influenzavirus Type A (H1N1)</i>	> 99.99	> 99.99
	ヘルペスウイルス <i>Herpesvirus simplex type1</i>	> 99.99	> 99.99

*1 濃縮製剤を使用

注1：DVV & RKI ガイドライン(2008)とは

「ドイツウイルス疾病管理協会(DVV)およびロベルト・コッホ研究所(RKI)による医療におけるウイルスに対する化学消毒剤の試験に関するガイドライン(2008)(以下、DVV & RKI ガイドライン(2008))」で公表されたウイルス不活化試験方法は、汚染物質としてタンパク質(ウシ胎仔血清)の負荷を試験条件に加えていることが、特徴のひとつとしてあげられます。したがって、DVV & RKIガイドライン(2008)は、その他の標準試験法と比べても、より実使用を想定した*in vitro*試験方法であると言えます。また、DVV&RKIガイドライン(2008)では、ウイルスの構造(エンベロープの有無)に着目した指標ウイルスが定められており、エンベロープウイルスに対して有効であるときは「Limited virucidal activity(限定殺ウイルス活性)」を、ノンエンベロープウイルスに対しても有効であるときは「Virucidal activity(殺ウイルス活性)」を訴求できます。なお、それぞれの指標ウイルスに対して、ウイルス感染価(TCID₅₀)で4.0Log₁₀以上の減少が認められた場合、その製剤はウイルスに対し有効であると判定されます。

- 「Limited virucidal activity」の指標ウイルス
ワクシニアウイルス、牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV：HCV代替ウイルス)
- 「Virucidal activity」の指標ウイルス
ポリオウイルス、アデノウイルス、パポバウイルス(SV40)、ワクシニアウイルス

サラサイド

8. サラサイドの金属に対する影響

8-1 金属テストピースをサラサイドに浸漬した場合の変化：

<方 法>

サラサイドを30mL入れたガラス瓶に、55mm×35mmの大きさのステンレス(SUS304、430および420J2)、アルミニウムおよび銅のテストピースが半分つかるように浸漬し、25℃で7日間放置しました。放置前後のテストピースの重量、表面および浸漬液の変化を調べました。

<結 果>

結果を表10および図1に示します。サラサイドに浸漬した場合、ステンレスでは外観変化および重量変化はほとんどみられず、影響はありませんでした。アルミニウムも重量変化はほとんどみられませんでした。銅では重量変化がみられ、また表面が変色し、溶液が緑青色に変化しました。

表 10 サラサイドに金属テストピースを浸漬した場合の変化

試験金属	重量変化 (g/m ² ・day)	表面の変化	溶液の変化
SUS304	0.01	変化なし	変化なし
SUS430	−0.06	変化なし	変化なし
SUS420J2	0.01	変化なし	変化なし
アルミニウム	−0.10	変色	白濁
銅	−1.13	変色、光沢なし	緑青色に変化

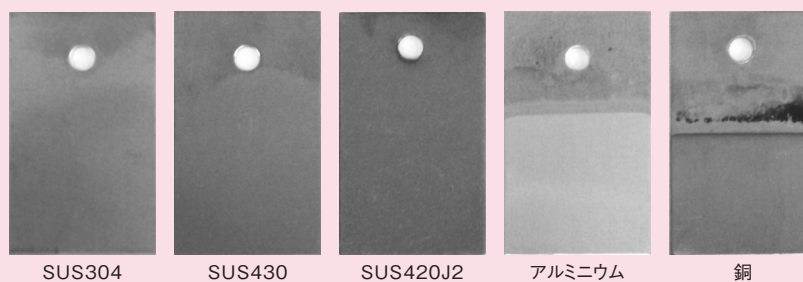


図1 サラサイドに金属テストピースを浸漬した場合の変化

8-2 実際の使用方法を想定した場合のアルミニウムテストピースに対するサラサイドの影響：

<方 法>

アルミニウムテストピースに**サラサイド**をスプレーボトルで噴霧し、布でふき取りました。この作業を200回繰り返し実施し、アルミニウムテストピース表面に及ぼす影響を調べました。

<結 果>

アルミニウムテストピース表面に変化はみられませんでした。

9. サラサイドのプラスチックに対する影響

<方 法>

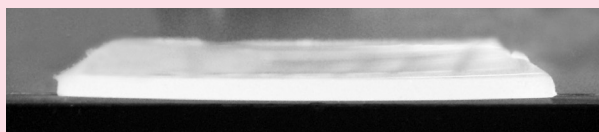
サラサイドを入れたガラス瓶に、50mm×50mmの大きさのプラスチックテストピースが完全につかるように浸漬し、25℃で7日間放置しました。放置前後のテストピースの重量、表面および浸漬液の変化を調べました。

<結 果>

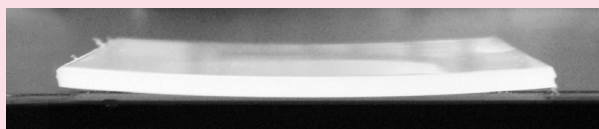
結果を表11および図2,3に示します。**サラサイド**に浸漬した場合、ポリアミドテストピースがやや湾曲し、フェノール樹脂テストピースの浸漬溶液の黄変を確認しましたが、その他のプラスチックテストピースについては外観および浸漬液の変化はみられませんでした。重量変化については外観変化のみられた、ポリアミドおよびフェノール樹脂テストピースに加え、アクリルおよびポリアセタールテストピースにおいて比較的大きな重量変化がみられました。

表 11 サラサイドにプラスチックテストピースを浸漬した場合の変化

試験プラスチック	重量変化 (g/m ² ・day)	表面の変化	溶液の変化
ポリエチレン	0.03	変化なし	変化なし
ポリプロピレン	0.06	変化なし	変化なし
ポリカーボネート	0.57	変化なし	変化なし
ポリスチレン	0.04	変化なし	変化なし
ポリアミド	17.66	やや湾曲	変化なし
ABS	0.74	変化なし	変化なし
アクリル	2.37	変化なし	変化なし
塩化ビニル（硬質）	-0.47	変化なし	変化なし
フェノール樹脂	2.32	変化なし	やや黄色に変化
ポリアセタール	1.25	変化なし	変化なし



試験前



試験後

図2 ポリアミドテストピースの外観変化



図3 フェノール樹脂テストピースの溶液の変化

参考文献

- 1) 森山和郎他,「山形県A 病院におけるVanB型バンコマイシン耐性腸球菌集団分離事例」環境感染, 21, 3, 2006, pp. 168-174.
- 2) David J. Weber, William A. Rutala, Melissa B. Miller, Kirk Huslage, Emily Sickbert-Bennett, “Role of hospital surfaces in the transmission of emerging health care-associated pathogens : Norovirus, *Clostridium difficile*, and *Acinetobacter species*”, AJIC, 38, Issue 5, Supplement, June 2010, pp. S25–S33.
- 3) Donna M. Hacek, Anna Marie Ogle, Adrienne Fisher, Ari Robicsek, Lance R. Peterson, “Significant impact of terminal room cleaning with bleach on reducing nosocomial *Clostridium difficile*”, AJIC, 38, Issue 5, June 2010, pp. 350–353.

MEMO

殺菌消毒剤 第2類医薬品

サラサイド

Drug Information 2011年8月作成 添付文書(一個箱)より作成

商品名	サラサイド	薬効分類番号	7324	製造販売元	サラヤ株式会社
使用上の注意	してはいけないこと 人体に対して使用しないこと				
効能 又は 効果	家具・器具・物品等の殺菌・消毒				
用法 及び 用量	本剤をそのまま対象物に噴霧するか、又はそのまま布片等に浸して対象物を清拭する。				
用法 及び 用量 に関連する注意	(1) 使用時にはゴム手袋、マスク等を着用すること。 (2) 皮膚に付着した場合は、炎症を起こすことがあるので、すぐに水で洗い流すこと。 (3) 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。 なお、症状が重い場合には眼科医の診断を受けること。 (4) 本剤は希釈せず、そのまま使用すること。 (5) 対象物に血液や汚物などが付着している場合には、清掃後、使用すること。				
成分 及び 分量	サラサイドは、有効成分としてベンザルコニウム塩化物 0.1W/v%、 添加物として、エタノール、炭酸ナトリウム、エデト酸四ナトリウム四水塩、クエン酸を 含有する。				
保管 及び 取扱い上の 注意	(1) 一部の樹脂（アクリル、軟質塩化ビニルなど）、塗料および合成ゴムなど材質によっては変質する恐れがある ので注意すること。 (2) 本剤を噴霧または布などにしみこませて清拭した後、拭き取ること。 (3) 直射日光の当たらない涼しいところに密栓して保管すること。 (4) 小児の手の届かないところに保管すること。 (5) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる） (6) 使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。 (7) 火気に近づけないこと。 (8) 取り扱う場合、換気を十分行うこと。				
包 装	500mL				

本製品は一般用医薬品(第2類医薬品)です。

● ご使用の際は、添付文書(一個箱)をよくお読みください。

品 名	内容量 / 規 格	1梱入数	商品コード	JANコード
サラサイド	500mLスプレー付	12	31748	49-87696-31748-2

■ 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 ■ 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。 ■ 記載内容は2023年2月現在のものです。

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8

<https://www.saraya.com/>

お問い合わせ先 TEL.06-6797-2525

学術的なお問い合わせ先 学術部 TEL.06-4706-3938

(受付時間：平日 9:00～18:00)